

愛好者60人楽しく汗

タッチラグビー

中部・北陸交流戦

in 福井

第2回大会は11日、県内外の愛好者60人が参加して福井市日野川浄化センター芝生広場で開かれた。

タックルがなく体格差による危険性がないのが特長の競技で、男女入り交じって楽しくボールを

追いかけた。

県内で競技の普及に努めている荒井章宏さん。福井市への呼び掛けで昨

年からスタート。今年は荒井さんが立ち上げた越前がにピンキーズ、県内在住の外国人でつくるTeam Maruのほか

東京、石川、京都、三重から10〜40代のチームや愛好者が駆けつけた。

6人制で、スクラムやタックルがなく、ボールを持って走る選手にタッチして攻撃を止める。京都女子大の同好会k-wombatは女性だけのチーム編成ながら、素早い動きで男性陣と「互角」にプレーしていた。

k-wombatの佐々木優さんは「男女、年齢の別なく楽しめるから、いろんな人と交流で



和気あいあいとタッチラグビーを楽しむ参加者たち＝11日、福井市日野川浄化センター芝生広場

きる。多くの人が初心者でスタートラインが同じなもの」とタッチラグビーの魅力を語っていた。荒井さんは「丹南や嶺南でも機運を盛り上げ将来、協会を発足できた」と話していた。

5チーム総当たりのリーグ戦では、金沢タッチ、Sharksの合同チーム(石川・三重)が優勝した。10日には初心者を対象にした合同練習会や体験会を開催した。

①金沢タッチ+Sharks(石川・三重) ②猪江タッチ(東京) ③越前がにピンキーズ(福井) ④Team Maru(同) ⑤k-wombat(京都)